

もの言う牧師のエッセー 第280話

「消されたカギ十字」

米ニューヨーク・マンハッタンの地下鉄で、愛と憎しみが衝突。結果は愛の圧勝で終わった。とある寒い日の夜、地下鉄に乗った弁護士グレゴリー・ロックさんは車内の異様な光景に目を見張った。何と車内の至る所に油性ペンでナチス・ドイツのかぎ十字マークやユダヤ人やイスラム教徒に対する憎悪の落書き、「ヒトラー万歳」などの言葉が殴り書きされていたのだ。どうすることも出来ず、不安げで落ち着かない様子の乗客たち。

とその時、レストランのシェフ、ジャレド・ニードさんが立ち上がり、「ハンド用消毒剤を使えば油性ペンを落とせる。アルコールが必要だ」と言いつつティッシュに消毒剤を含ませ落書きを消し始めた。すると、「誰もがポケットやかばんをゴソゴソやり始め、消毒剤やティッシュを取り出した」とロックさん。落書きはたったの2分ほどで消し去られた。「全員が座席に戻って互いを見やり、幸せな気分になって乗車を続けた」とニードさんは振り返る。

ロックさんがこの出来事をフェイスブックに投稿すると、僅か一日のうちに25万回以上共有された。クリントン元大統領の娘のチェルシーさんは「私たちは憎悪に負けない。これからは消毒剤を持ち歩かなきゃ。」とコメント。さらに別の乗客は、かぎ十字に手が加えられて「LOVE」のマークに書き換えられた落書きの写真を投稿。「私たちは憎しみを愛に変える。私たちは引き下がらない。現在も、これからも。」と熱く語る同州のクオモ知事。聖書は言う。

「愛は多くの罪を覆う。」

第一ペテロの手紙4章8節、

と。世知辛い世の中、悪に打ち勝つには結局のところ愛の力しかない。イエスは十字架にかかることによって見事にそれを示し、我々の罪を消して下さった。キリストを心に迎え、彼の愛の力によって、我々もまた他者の悪意に勝つことが出来る。

2017-4-8

